

コロナ禍により一学期に行事が全く出来なかった…と、この時期に行事を実施する学校も多く、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを実践いただくのもこの時期がとて多くなってきています♪

今回は、県立三田祥雲館高等学校、養父市立八鹿小学校、赤穂市立有年小学校の3校で行われた講演会の様子をお届けします(*'ω'*)

また、最後には IPC 公認教材「I'm POSSIBLE (アイムポッシブル) 日本版」についても少しご紹介しますね！！

11月4日(水) 県立三田祥雲館高等学校 「これまでの経験を踏まえて～共生社会について～」

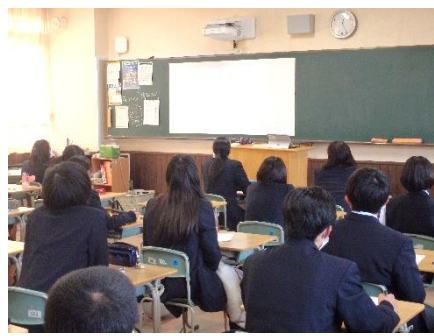
講演をしてくださったのはシドニーパラリンピックから5大会連続入賞した走り高跳び日本代表の鈴木 徹さん。

3年生が講義棟で、1、2年生は各 HR 教室からオンラインで講演を聞かせていただきました。

講演では、お話とともに事故が起きた時の写真やリハビリ期間の映像、パラリンピックでの跳躍の映像などを視聴し、鈴木さんのこれまでの努力されてきた姿を見て聞いてしっかりと感じる事が出来ました。

幼少期に抱えた吃音や心臓の病気の影響でふさぎ込みがちだった自分を変えたのがスポーツであったとし、生徒の皆様にも「自分が得意なこと好きなことを見つけて大切にしてほしい、それが自分を支えるものになる。そして、何があっても色々な選択ができるように、自分で足を運び自分だけの“生”の情報を知って、いろんな経験、スキルを身につけておくべきだ。」とメッセージを送りました。

また、ある時道端で「あの人、足がない」という子どもに対し、見ないようにと背中を押す母親がいたというご自身の経験を話され、「世の中の障害や病について知る経験を増やすことが障害者理解に繋がる」と共生社会についても語られました。



11月5日(木) 養父市立八鹿小学校 「生きる希望」

講演をしてくださったのは、アテネ・北京パラリンピック シットینگバレー日本代表の金尾 智さん。

ケガをされてからの義足での生活、シットینگバレーの競技やパラリンピックでの体験をお話いただき、最後には全員でシットینگバレーの移動の動きや、代表生徒が金尾さんとのパスを体験しました。

講演では、義足はあくまで体の一部を補うもので、目が悪い人がメガネをかけるのと同じであるとし、「義足であっても一つひとつ小さなことをクリアすればなんでもできる。その積み重ねが自信となってこれまでも仕事や結婚、パラリンピック出場という大きな目標を達成することができた。自分がちゃんと接していたら相手は分かってくれている。周りの人たちが、障害のあるなしは関係ないと気づかせてくれる。」と語られました。

そして、自身のこれまでの人生、バレー経験をを通して、「諦めること、やめることは簡単。大事なことは諦めない、やり切ることである」と力強い言葉で講演を締めくくりました。

また、八鹿小学校では県立障害者スポーツ交流館から借用しているパラリンピック写真 50 枚を校内に展示しており、体育館にも多くの写真が展示されていました♪



11月6日(金)赤穂市立有年小学校

「夢を実現する力～身長 159 センチのバレーボールが世界の MVP を獲得するまで～」

講演をしてくださったのはロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリストの竹下 佳江さん。講演は、竹下さんが副社長をされているバレーボールチーム姫路ヴィクトリーナの名誉チェアマン 内田 奈々さんとの対談形式で行われました。

クイズを交えながらバレーボールの基本的なルールを学び、競技については**“みんなとコミュニケーションを取り合い、心を通じ合わせる。思いやりが必要な素敵なスポーツ”**として、希望者は竹下さんとオリンピックで実際に使用される公式ボールでパス体験をしました。

また、日本のバレーボールのオリンピックの歴史とともに竹下さんのこれまでの活躍を振り返り、ケガをされた時のことやメダル獲得までの苦難を話され、講演の最後には、セッター思考を磨く7つの習慣から**“「できない理由」ではなく、「できる方法」を考える”** **“「試合前」よりも「日々の練習」を大切にする”**ということ教えていただきました。

児童代表挨拶では「私も竹下選手のように努力し続けられる人になりたいです。」と、竹下さんの講演に大変感銘を受けている様子が見受けられました。



「パラリンピック教育」の実施

2013年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定後、次回の学習指導要領改訂時には「パラリンピック教育」が盛り込まれるように議論が進められた。この度改訂された学習指導要領では、周知期間を経て、令和2年度から小学校で、令和3年度から中学校で「パラリンピック教育」が実施されることになっています。

少なくともこれから10年間は学校教育において「パラリンピック教育」に取り組むことになりました。学校の先生方は「パラリンピック教育」ってどうしたらいいの??と困惑されるかもしれません(>_<)

そんな時に役に立つのが、、、今回紹介する次の教材です!!

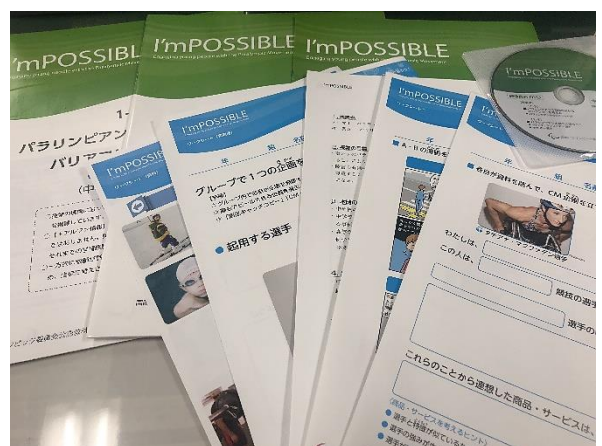
IPC 公認教材「I'm POSSIBLE(アイムポッシブル)日本版」とは?

全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、特別支援学校等のすべての学校に配布されている「I'm POSSIBLE(アイムポッシブル)日本版」。

学校に勤めている方なら見たことがあるのではないのでしょうか??

「I'm POSSIBLE(アイムポッシブル)日本版」は、パラリンピックのことをよくご存じない先生が負担なく授業できるように工夫されていて、パラリンピックの中にある「できない」を「できる」に変える工夫や考え方を子どもたちに伝え、考えるためのツールです!

推進校にも講師を招聘した講演会などを実践いただいておりますが、その際には事前指導や事後指導にもこの教材を使っていただき、より深い学びの機会としていただければ幸いです(^_^)



授業ガイドや指導案、映像資料など内容も盛りだくさん!!

